

# コロナ禍でのオンライン講義に関する教員の対応と意識： 静岡県立大学のアンケート調査から

湯瀬 裕昭† 藤田 幸孝† 吉田 峻典†  
静岡県立大学†

## 1. はじめに

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本でも感染拡大が進み、教育機関も大きな影響を受けた。2020年3月2日から日本全国の小中高校における臨時休校が要請され、授業形態の変更などが余儀なくされた。授業開始を遅らせる大学も数多くあったが、特に2020年4月に多くの都道府県で緊急事態宣言が出されたことから、本格的にオンライン授業が行われるようになった。国立情報学研究所(NII)の「教育機関DXシンポ」[1]を見ると、大学を含む多くの教育機関でオンライン授業が行われていることが確認できる。文部科学省の調査によると、2020年6月1日時点で99.7%の大学・高等専門学校において授業が行われ、そのうち面接授業のみの実施は9.8%であった[2]。その後も新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、度々緊急事態宣言が出されていることから、オンライン授業を継続した大学が多かった。

静岡県立大学においても感染症対策のため2020年前期からオンライン授業を実施し、2021年後期においても一部の講義でオンライン授業を実施している。本研究では、2021年後期にオンライン授業に関する教員向けのアンケート調査を静岡県立大学の専任教員を対象として行い、2020年度と2021年度における教員のオンライン授業への対応状況やオンライン授業に対する教員の意識などを明らかにする。

## 2. アンケート調査の方法

静岡県立大学の専任教員を調査対象とし、Google フォームを用いてオンラインアンケートを実施した。専任教員のメーリングリストを使って、アンケートの依頼文と Google フォームの URL を送付し、2021年12月8日から12月27日までの期間で回答を得た。305名の専任教員に依

頼し、得られた回答数は120名で、回答率は39%であった。

## 3. アンケート調査の結果

回答者の属性として、所属する学部などを図1に示す。

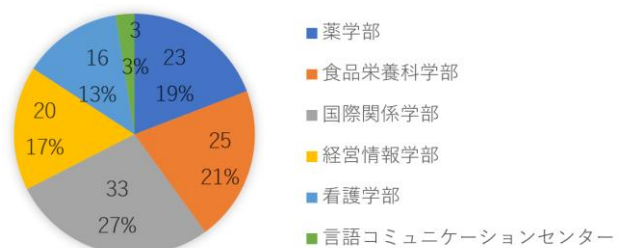


図1 回答者の所属

2020年度以降に本学でオンライン授業を実施したことがあるかについての質問では、114人が「はい」、6人が「いいえ」と回答し、95%の教員がコロナ禍でオンライン授業を行っていた。そこで、以降では、オンライン授業を行っていた114人の回答を対象にアンケート結果の分析を行っていく。

2020年度前期、後期、2021年度前期、後期で、オンライン授業を実施したかについての質問では、図2に示した人数がオンライン授業を実施したと回答していた。オンライン授業の実施人数は学期が後になるごとに減っている。

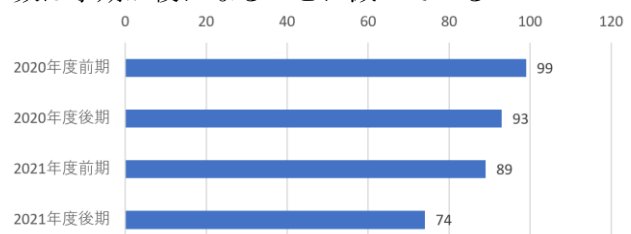


図2 学期別のオンライン授業実施人数

2020年度前期、後期、2021年度前期、後期にどの程度の割合でオンライン授業を実施したかについての質問の結果を図3に示す。5分類での実施割合での人数を示している。

Teachers' response and awareness of online lectures during the COVID-19 epidemic in University of Shizuoka

†Hiroaki Yuze, Yoshinori Fujita, Shunsuke Yoshida, University of Shizuoka

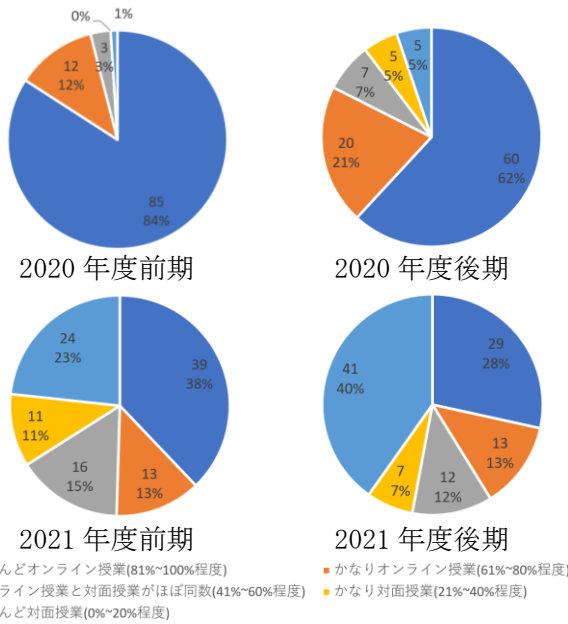


図3 学期別のオンライン授業の割合

オンライン授業の実施形態についての質問の結果(複数回答可)を図4に示す。回答の選択肢がリアルタイム型とオンデマンド型の2つのみだったため、ハイブリッドやハイフレックスなどという回答を「その他」として答えていた。

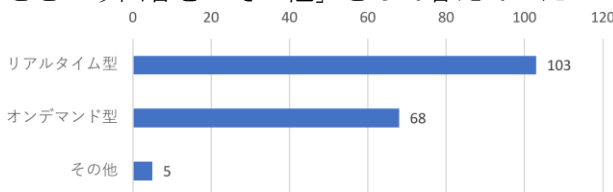


図4 オンライン授業の実施形態

図4の結果を所属別に分けて、リアルタイム型とオンデマンド型の割合を見たグラフを図5に示す。所属により、実施形態に差が見られる。

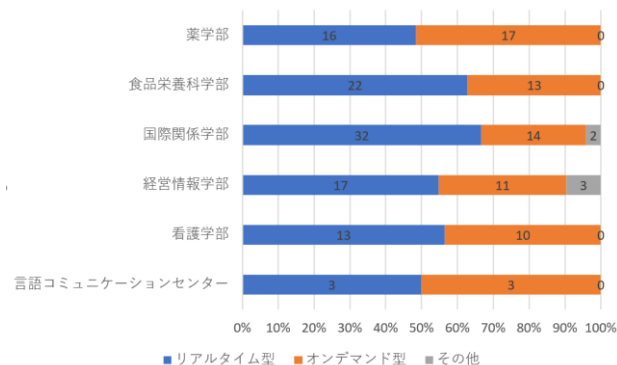


図5 所属別のオンライン授業の実施形態

対面授業のみの時と比べて教材作成や授業準備、授業実施にかかる負担は増えたかについての質問の結果を図6に示す。

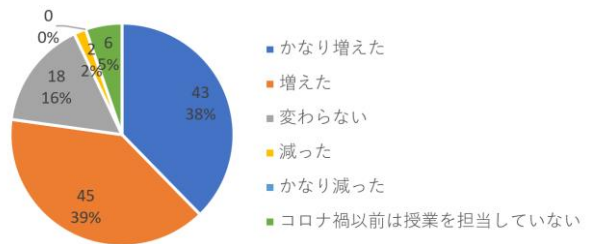


図6 オンライン授業の負担

対面授業とオンライン授業のどちらを好みますかについての質問の結果を図7に示す。

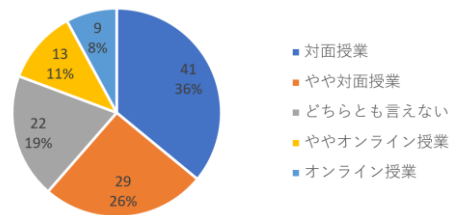


図7 授業形態の好み

2020年度に比べて2021年度はオンライン授業をうまく実施できていると感じますかについての質問の結果を図8に示す。

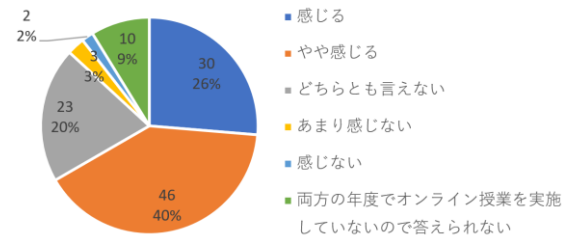


図8 オンライン授業の上達感

#### 4. おわりに

今回のアンケート調査結果より、所属する学部などによりオンライン授業の実施形態に差が見られ、教員はオンライン授業よりも対面授業を好む傾向があるが、2020年度に比べ2021年度のほうがオンライン授業をうまく実施できていると感じており、オンライン授業の実施に慣れてきていることが明らかになった。今後はアンケート結果を詳細に分析したいと考えている。

#### 参考文献

- [1] 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関 DX シンポ」, <https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/>
- [2] 「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた大学等の授業の実施状況」, [https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt\\_kouhou01-000004520\\_6.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_6.pdf)